

# 広報 いんちゆう

第 33 号

発行所 黒埼村役場  
発行人 清水善夫  
印刷所 小野塚印刷機

## 新年のあいさつ

### 「豊かで明るい黒埼村に」



村長 清水善夫

私達待望の郷土出身総理大臣が誕生した。田中総理は日本列島改造と福祉国家建設をスローガンにして活躍中である。日本海時代の幕明けである。新潟県は希望と勇氣をもつて郷土開発に取り組んでいる。新潟県域生活圏は日本海側の飛躍的發展の中心の役割を果す地域であつて黒埼村は此の圏域内にあつて前進的変ぼうをしている。昭和45年国勢調査で昭和40年のそれ下最高の伸率を示した。人口増で本年は山田小学校を分離し新しく山田第二小学校仮称建設を計画している。北陸高速自動車道と上越新幹線がほぼ併行して村を縦断しインターチェンジが山田地内

に建設され、両路線共昭和51年完成開通の予定である。新都市計画法により市街化区域と市街化調整区域を現在農業振興地域整備法の指定区域を決める作業中である。黒埼村をとりまく情勢の変動に対応し「福祉と文化のゆき」といった健康で豊かな明るい黒埼村をつくるため自らの責任と創意にもとづき、黒埼村総合計画の基本構想と基本計画を策定した。政令指定を受けて消防署を発足させ消防力を充実させ、救急業務をやつて住民の生命と財産を守り新潟地区広域清掃事務組合に加入して、し尿処理施設を建設本年四月から業務を開始し養農業高校黒埼分校は四月より定時制から全日制となる。山田第二小学校(仮称)の近くに新潟青陵学園による学校設立も地元の方々の献身的なご協力により実現する見ととうしである。その他道路計画等のすべて総合計画に基づいて実施しているが、二月から町制を施行することになった。ここに至るまで先人の血のにじむよう

## 〈村の動き〉

11月末現在(前月比)		
人口	17,686	±0
男	8,687	±0
女	8,999	±0
世帯数	4,063	±11
11月1日から末日まで		
死亡	12	
出生	29	
婚姻	89	

な苦勞と住民の良識ある協力のあ

## 年頭のあいさつ

### 「生活の安定と福祉増進の年に」



議会議長 江端修吾

昭和四十八年の年頭にあたり、黒埼村議会を代表しまして、つつしんで新年のごあいさつを申し上げます。村民のみなさん、あけましておめでとうございます。ここに希望にあふれた新春を迎えるにあたり、みなさまがたのご清福とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。就任以来その重責を痛感し、その後微力ながら円滑な議会運営と村政の伸展を期して、誠心誠意懸命の努力を傾注してまいりました。おかげをもちまして、大過なく越

つたことを忘れることはできない。村は特定の人達のものではない。住民すべてのものである。心の貧しさは自分を不幸にするばかりか他人をも不幸にする。静かにもがき必要時である。住む人の心の持ち方こそ村づくりには大切なことである。新しい年を迎えて住民すべてが豊かになで幸せになられるよう祈ります。

年することができました。これもひとえに村民各位のご支援とご協力の賜であると、心から感謝の意を表する次第であります。当村議会においてもその議権の伸張と村民の福祉増進を目的とし歩んでまいりました。近年における当村は、人口も一万余七千人に、住宅地域として隆盛の一途をたどっております。これは、みなさまのご協力と村行政運営のよろしきを得た結果であり、喜びにたえないところであります。しかしながら村民生活の安定、福祉増進を図るには、今後幾多の重要問題が山積しています。とから、県案である都市計画による街づくり、また最近問題となつておる生活関連社会の整備は何をおいても早急に推進すべきであると思つて。これらの解決を図ることが、われわれに課せられた責務であり、関

## おたずねに 答えて

部落費はどういう目的で徴収され、それは何に使われているのかまた、家庭によって金額の違うのと、部落によって金額の違うのはどうしてなのか。 一主婦

部落費は役場自治体に納入されるお金ではなく、部落維持費という目的で、部落独自の活動費等に使用されるもので、各部落による金額の相違は事業等の活動の大小部落人員世帯の大小により異なることと思われまふ。また家庭により徴収される金額の相違は所得の関連ではないでしょうか。従つて役場がこの部落費を廃止せよとか少なくせよという権限はありません。また、この費用がどんな所に使用されているかという事については、おそろしく毎年一回定期総会等が開催され、あなた方が納入された金額が〇〇円、〇〇事業に〇〇円使用され残金は〇〇円ですというように報告があると思つて。そのお金の使途についてくわしく知りたければ、その会議に出席してお聞きになることが一番よろしいかと思つてます。